

平成30年度「ぽっかぽか心トーク」で寄せられた意見・要望への回答

| | | | | | |
|-----|---|----|-------------------|----|-----|
| 会場 | 保健福祉センター | 日時 | 平成30年11月5日 19時00分 | 人数 | 19人 |
| 出席者 | 町長、副町長、地域戦略室長、町民課長、地域戦略係長、広報広聴係長、生活環境係長 | | | | |

| 意見・要望 | 現地回答 | 担当課回答 |
|---|--|---------------------------------|
| <p>ごみの広域化について、地域の説明会などを開催し、直接説明する場を設けるべき。先行して実施する町村の事例を参考にすべき。</p> <p>ごみステーションについて、必要・不要な場所があるので、設置基準を見なおすべき。加齢によりごみステーションが遠いということもある。個別回収もありうるのでは。</p> <p>町内会で実施している資源ごみ集団回収の手当ての単価が安い。手当てを改善する考えはあるか。</p> | <p>(町民課長)</p> <p>現在、広域処理に加入しているのが9市町村で、平成31年4月から4町が加入しています。加入が先行している町村を参考に進めていきます。</p> <p>これから広域化の検討を進めるなかで町民の方々にわかりやすく丁寧な形で説明していきます。</p> <p>ごみステーションの設置、考え方については、設置や廃止の要望を町内会を通じてお話いただければ収集業者への対応が可能です。町内会の会合などで、必要・不要な場所をご相談ください。</p> <p>個別回収については町で全ての家庭を回することは困難なため現在は予定しておりませんが、生活支援という形で福祉的な面からの検討を進める必要があると考えています。</p> <p>資源ごみについては現状と同じ考え方になります。お金の面については、他の町村を参考にしていきます。</p> <p>(町長)</p> <p>はっきり申し上げると、広域化にならざるをえない状況です。そのうえで、町民のみなさんがごみを出す方法、料金をいかに変えないか。ただし、事業系のごみについては料金が増え、利便性が落ちることになりますので、少しでも現状が維持できるためにどうするかが課題です。これについて説明会を開催しますが、時期についてはもう少しお待ちいただきたいと思います。</p> | <p>(町民課)</p> <p>現地回答のとおりです。</p> |

| | | |
|--|---|---|
| <p>ストックヤードについては、清掃センターの一角に一時保管室のようなものを設置するということか。</p> | <p>(町民課長) あまり費用をかけずに清掃センターを改修してストックヤードを設けたいと考えています。新得からくりりんセンターのある帯広までは距離があるため、利便性を下げないためにストックヤードが必要だと考えています。</p> | <p>(町民課) 現地回答のとおりです。</p> |
| <p>くりりんセンターについて、十勝全体のごみが集まることによって、将来的にパンクしてしまうことはないのか。</p> | <p>(町民課長) くりりんセンターがパンクすることはありません。十勝の全市町村分のごみを受け入れしても問題ない規模とわかっています。</p> | <p>(町民課) 現地回答のとおりです。</p> |
| <p>駅前に観光客人が集うために早めに手をつけるべきでは。スーパーはどうなるのか。</p> | <p>(町長) スピード感を持って進めることを意識しています。スーパーについては、施設の老朽化が進んでいるという点ですが現時点で明言できる情報はありません。</p> | <p>(地域戦略室) 現地回答のとおりです。</p> |
| <p>町立高校はどうなっているか。</p> | <p>(町長) 町立高校についてはなかなか進んでいないのが現状です。</p> | <p>(学校教育課) 町立高校の設置に関しては、高校のあるべき姿や費用に関するシミュレーションを示して説明してきましたが、現状ではなかなか理解を得ていくことが困難な状況にあります。 魅力のある学校、生徒の確保などの課題への対応も必要と考えており、今後の方向性について考えていきます。</p> |
| <p>道の駅についての考えは。</p> | <p>(町長) 新得には追加インターチェンジが必要だと考えており、追加インターチェンジの設置のために経済的にプラスとなる機能として道の駅を1つの選択肢として考えています。町民の方から国道沿いやJR新得駅周辺に道の駅を設置してはどうかというご意見もうかがっており、今後の議論を進めるうえでの参考とさせていただきます。</p> | <p>(地域戦略室) 現地回答のとおりです。</p> |

| | | |
|--|---|--|
| <p>町内の医師が新得から離れるという話があるが、新しい医師の確保について町としての考えは。</p> | <p>(町長) 病院内部の人事異動について、町から言及できることではありません。当然代わりに新しい医師がくることになるとは思いますが、今後の体制がどうなるかは現在わかりません。ただし、医療機関の存在が変わることであれば、別に対応が必要と考えています。</p> | <p>(保健福祉課) 医療機関内での医師の体制の変更はありますが後任の医師が着任すると聞いております。 町民が住み慣れた身近な町で安心して診療を受ける事ができるように地域の課題・ニーズを勘案しながら、今後も引き続き屈足地区も含めた町内の医師の確保に努めてまいります。</p> |
| <p>平成28年の台風災害は過去最大の被害であり、記念碑があっても良いのではと思う。来年の開拓120周年事業に合わせた検討ができるか。</p> | <p>(町長) 来年というのは回答できませんが、碑というものがあっても良いかとは思っています。復旧工事が完了する時期を含めて検討させていただきたい。</p> | <p>(総務課) ご意見の通り過去最大の被害を受け、この災害を風化させないよう後世に伝えていく必要はあると考えますので、設置することで検討を進めます。 なお、被害の中でも大きかったのは、19日間に及ぶ大規模な断水であったことから、平成29年、30年と新得中、屈足中にそれぞれ1カ所ずつ手押しポンプを設置してきております。 この趣旨も踏まえ、災害を伝承する記念碑としては、例えば、手押しポンプの土台をコンクリート製にして被害状況等を記した掲示板を貼り付けたものを、新たに設置してはどうかと考えておりますが、多方面からの意見を伺った上で進めていきます。</p> |
| <p>町内会について、賃貸住宅が増加しているが会員の加入がうまく進まない。他市では町内会費条例だとか、事業者と入居者が賃貸契約の中で自動的に加入し、共益費として会費を徴収する仕組みもある。もう少し町内会に目を向けさせる仕掛けが必要では。未加入者の災害時の対応の問題もある。町内会の努力も必要かと思うが、何か働きかけ方を検討する必要があるのでは。</p> | <p>(町長) 町内会は災害時も含め、日常の生活で大きな役割を担っていると思っています。町内会活動が前に進むようなことが町内会条例につながるかどうかも含め検討させていただきたい。</p> | <p>(町民課) 現地回答のとおりです。</p> |

平成30年度「ぽっかぽか心トーク」で寄せられた意見・要望へのご回答

| | | | | | |
|-----|---|----|-------------------|----|----|
| 会場 | 山の交流館とむら | 日時 | 平成30年11月7日 19時40分 | 人数 | 9人 |
| 出席者 | 町長、副町長、地域戦略室長、町民課長、地域戦略係長、広報広聴係長、生活環境係長 | | | | |

| 意見・要望 | 現地回答 | 担当課回答 |
|---|---|--|
| <p>新規就農者や新規開店に関する町の補助制度はあるのか。人口を増やすためにはそのような町の補助というのが武器になると思う。今はまず初めに情報を集めるためにはインターネットで調べることが多いが、インターネット上に掲載はあるか。</p> | <p>(地域戦略室長)</p> <p>町のホームページに補助金の概要を掲載しています。金額等の詳細を把握している担当がこの場にはいないため、詳しい内容をお答えできませんが、インターネット上で概要を調べることはできます。</p> <p>(町長)</p> <p>もし必要とあれば、直接担当にご相談ください。</p> | <p>(産業課)</p> <p>新規就農者につきましては新規就農者支援育成条例があり、新規就農者として認定された場合、一時金の助成や資金貸付などを受けることができます。</p> <p>また、新規開店につきましては商工業活性化事業やチャレンジショップ事業があり、新規開店や空き店舗などに対して改修費等の支援、試験的に営業する店舗の提供などを実施しております。</p> <p>いずれの制度についてもインターネット上に概要を掲載しております。</p> |
| <p>先の震災による停電で、温泉などで電気がないために食料が全部だめになってしまうと聞いている。そのような事態に備えて大型の発電機があれば対応できると思うが、発電機の導入はどうか。</p> | <p>(町長)</p> <p>温泉だけでなく商店や飲食店、農業などでも停電は厳しい状況となりますが、農業ではトラクター後部の動力で発電させたもので電源を確保するという事も聞いています。冬期間であれば暖房の問題もありますので、どこまで対応できるか頭を悩ませているところです。</p> | <p>(産業課)・(総務課)</p> <p>道内全停電により、町内においても冷蔵・冷凍庫の食品が廃棄となる被害が発生しました。</p> <p>そのような事態になった際の非常用として、東大雪荘では来年度発電機を予算化し対応いたします。</p> <p>また、町内各商店など事業の非常用として、対象業種など様々な事項については検討中ではありますが、発電機購入への支援策について現在協議を進めております。</p> <p>冬期間の停電については、町民の生命に関わる可能性が大きいことから、新得・屈足それぞれ1カ所の避難所内の暖房機を稼働できる非常用発電機を整備する方向で検討しています。</p> |

| | | |
|---|---|--------------------------------|
| <p>士幌町の道の駅にはよく人が集まっているイメージがある。新得地鶏やジャージー牛などの地元の産物を出してPRすればもう少し盛り上がるのでは。お土産だけでなく、レストランにも人は集まる。</p> | <p>(町長) 道の駅はやりたいと思っています。1つの方法として追加インターチェンジの中に設置するものと、駅前再整備を検討する中で道の駅または道の駅に準じた施設で特産品を含めたPRをという議論もしています。時期は明言できませんが、必要性は認識しています。</p> | <p>(地域戦略室) 現地回答のとおりです。</p> |
| <p>ごみの広域処理について、15年間の想定であるが、その間くりりんセンターの焼却施設はもつのか。十勝管内から結構な量のごみを受け入れるが、トラブルが発生すると停まってしまうのでは。また、炉を更新することによる値上げがあったりすると、将来的に逆に高上りにならないか。</p> | <p>(町民課長) 高上りになることはありません。くりりんセンターの炉は2機あり、1機故障すればもう1機で対応ということになっており、複数の炉で24時間効率よく燃焼しています。新得のように停めたり動かしたりは高上りになります。また、炉は計画的に改修することになっています。</p> <p>(町長) トラブルは起こり得るでしょうから100%大丈夫とは言い切れませんが、少なくとも皆さん方のこれからの負担を考えれば広域処理の方がというのが現状の考え方です。高上りになるのではと言われると、100%とは言わずとも限りなくゼロに近いのではと想定しています。ただし、距離や負担の問題はあるため、そこをどう埋めるかが課題です。くりりんセンターは分別が厳しいということもあるのでその辺りは気を付けていかないといけないと思っています。</p> | <p>(町民課) 現地回答のとおりです。</p> |

| | | |
|---|--|--|
| <p>役場庁舎の建て替えの件について、現在と同じ場所に建てるのか。2年前の台風災害時には浸水しているし、裏手の中新得川が氾濫する可能性があるのでは。そこにあえて建てるのか。庁舎は70年ぐらいは保たせないといけないのでは。新得駅周辺が寂しいという現状もあるのだから新得駅周辺に建ててはどうか。</p> | <p>(町長)</p> <p>水害は今後もあると思っています。水害や停電があっても対応できるような庁舎を考えなくてははいけません。また、中新得川を分散することも検討を始めており、平成28年の災害をイメージし、あのような事態にならない方法を探っています。役場庁舎に限定した議論においては、新得駅周辺の案は否定できませんが、公共施設は保健福祉センターや公民館を含めて集約するべきだと考えています。</p> <p>検討委員会で議論が進み、たたき台が出来あがった際には町民のみなさんの意見もうかがうことになると思います。</p> | <p>(総務課)</p> <p>現時点では、現役場庁舎南側に建て替える方向で議論しておりますが、その理由として、町の公共施設が付近に集約されており徒歩で移動できることや、将来既存の公共施設の建て替えなども視野に土地の有効利用が見込まれることが挙げられます。</p> <p>ご意見の通り水害の可能性は否定できませんので、建物自体の防災対応と河川改修を併せて検討してまいります。</p> <p>なお駅周辺については、まとまった町有地がなく、用地購入による新たな財政負担が発生するなどデメリットが大きく、また駅前周辺は商業エリアであると考えています。</p> |
| <p>山村留学について、問い合わせも多く見学に来る方もいるが、住宅の空きがない状況。現在入居している住宅も元々教職員住宅で、教育委員会で内装などを修繕していただいているが、厳しいところもある。隙間が酷かったりカメムシも出る。</p> <p>また、現在は子どもが増えたこともあり教職員が増えているが、トムラウシに住みたくても住宅に空きがなく屈足から通っている職員も多い。子どもの数で職員数も増減するため新たに建設して空けておくのも難しいかと思う。鹿が出たり冬場は交通面も悪いので、できればトムラウシに住んでいただきたい。</p> | <p>(町長)</p> <p>住環境はしっかり考えなくては大変な問題だと思っています。住宅を建設することも必要だと思っています。ただし、一般の住宅とするか教育財産とするか、また価格のこともあるので、教育委員会にご相談ください。山の交流館の裏手、過去に砂利を堆積していた場所、北電か河川管理者かの境界に土地があったのではと思います。</p> | <p>(学校教育課)</p> <p>富村牛の教職員住宅や山村留学用住宅は、児童生徒の数によって教職員の配置や、山村留学の希望者によって必要戸数が変わってきます。</p> <p>これまで住宅の老朽化対応として、平成26年度に教職員や山村留学用の住宅4戸を整備したほか、必要に応じて維持補修を行ってきました。また、将来をある程度見通した中で、住宅の必要戸数を想定し、既存の教職員住宅や民間賃貸住宅を含めて人の増減に対応していくことで学校とも協議をしてきました。</p> <p>これらを踏まえて、当面支障の無いように補修をしながら現状を維持し、今後の推移を見極めていきます。</p> |

| | | |
|---|---|---|
| <p>昨年、ぽっかぽか心トークで質問した林野庁の裏の土地について、回答が中途半端になっている。土地が売れるか売れないのか、売っていただけるのであれば民間の方が住宅を建てることできると思う。水道もすぐ引ける土地だと思う。教職員や山村留学、従業員が住む場所としても使える。</p> | <p>(町長) 売買については明言できませんが、どなたかが住んでいただけるのであれば地域にとっても良いことだと考えます。</p> | <p>(総務課) 現在、民間の方々が所有し続けることが難しくなっている農村部の農地や林地などは、適切な管理ができなくなることを避けるため、町で購入し管理することを進めています。 トムラウシの町有地については、現在のところ土地利用の計画はありませんが、上記の考え方を基準として、民間の方々が所有できている土地以外は町で管理することを考えていますので、この土地についても引き続き町で管理いたします。</p> |
| <p>災害などによる停電時には、この地区は水も出なくなる。先日、水が出なかったときには天気も良くすぐに水を持ってきていただき地域の方に配布したが、冬場等、通行止めになった際に水の運搬が出来ないと電気以上に困ることになる。富村牛小中学校に備蓄している発電機では水道のポンプは動かせない。避難所にも指定されているので、水道を動かせるようにしていただきたい。 また、役場で水を運搬していただいたが、必ずタンクを清掃してから水を持ってきていただきたい。</p> | <p>(地域戦略室長) 担当課に確認します。</p> | <p>(施設課) 水道施設のほか、山の交流館地下にも貯水槽がありますので、長時間停電時でも給水できる方法を、関係部署と協議します。 水のタンクは、使用前・後に清掃して保管しておりますが、採水時には再度確認して運搬します。</p> |
| <p>ぽっかぽか心トークに参加したくても、今回は市場などが重なり仕事の都合で参加できない方がいた。可能であれば日にちを選択できるようにしていただきたい。</p> | <p>(町長) 別の日程が必要であれば、再度うかがうのでご相談ください。</p> | <p>(地域戦略室) 今後は、できる限りより多くの方が参加できる日程での開催となるよう調整してまいります。 なお、ぽっかぽか心トークに限らず、各種グループ、住民団体など概ね5人以上の集まりで、ご希望があれば懇談会を開催いたしますので必要に応じて広報広聴係までご相談ください。</p> |

| | | |
|--|---|--------------------------------|
| <p>特別支援学校を見学したが、施設や職員も素晴らしいと思うが、受け入れ口の対応が遅れているのはもったいないと思う。それこそ道の駅のような施設ができれば、従業員として働いたり、木工品の販売ができるのでは。また、ふるさとに何を贈りたいというときに選択できるようになるのでは。</p> | <p>(町長) ここに連れていけばという場所が必要ということは実感しています。</p> | <p>(地域戦略室) 現地回答のとおりです。</p> |
|--|---|--------------------------------|

平成30年度「ぽっかぽか心トーク」で寄せられた意見・要望への回答

| | | | | | |
|-----|---|----|-------------------|----|----|
| 会場 | レディースファームスクール | 日時 | 平成30年11月8日 13時30分 | 人数 | 5人 |
| 出席者 | 町長、副町長、地域戦略室長、町民課長、地域戦略係長、広報広聴係長、生活環境係長 | | | | |

| 意見・要望 | 現地回答 | 担当課回答 |
|---|---|--|
| <p>新しくお住まいになる方に配布しているごみの分別の一覧に細かい情報が載っていない。また、清掃センターにごみを持ちこんでもどこに置いたらいいのかわからない。細かい部分の説明があればごみに対する意識も変わるのでは。</p> <p>上佐幌小学校の裏手のごみステーションは道路に近く、誰かが不法にごみを投げていく可能性がある。もう少し見えにくい場所にするなど町で調整しないのか。</p> | <p>(町民課長)</p> <p>分別の一覧は作成してから時間が経っているので、更新を検討します。</p> <p>ごみステーションは、町内会で適した場所をご相談のうえお知らせください。町としては収集と相談したうえですぐに対応できます。</p> | <p>(町民課)</p> <p>現地回答のとおりです。</p> |
| <p>自身でごみを清掃センターに持ち込む方が多く、車で混雑している。収集車が入ってこれず待っていることもある。</p> | | <p>(町民課)</p> <p>今後の施設整備にあたっては、混雑を解消できるような動線を検討してまいります。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p>幼児から中学生までの教育を充実してほしい。学校教育ではなく、現代社会や世界観など、ほかの町にはない人を育てる教育を進めては。学校教育以外の時間に廃校などを活用しては。子どもの教育には親もついてくるので、親の働き先が町外であったとしても、飲食や燃料費など多少なりとも町内経済にも貢献されるのでは。たとえ子どもが町を一度出て行っても、何人かでも色々な経験をして町に戻ってきてくれれば、また違う形で新得が発展するのでは。</p> | <p>(町長) 未就学児については、札幌や小樽近郊に幼稚園や保育園で特色ある授業を行っている自治体があるとのこと で、授業風景のビデオをいただいて研究をしているところ です。 どのようなことができるか考えていきたいと思いま す。</p> | <p>(社会教育課)・(児童保育課) 新得町では、学校教育だけではなく、社会教育においても地域の様々な資源を活用して子どもたちに地域の魅力を肌で感じてもらう「全町教育」に取り組んでおり、この活動によって子どもが地域に誇りや愛着を持ち、将来的に新得に戻ってきてくれることにつながることを期待しておりますので、今後も引き続き活動に対しご協力いただきますようお願いいたします。 保育所・園、幼稚園では、高齢者の団体や町内会などと行事を通して交流をしています。屈足保育園では稲を植え、収穫したものをおにぎりにして食べるなどの食育活動を毎年行っています。新得幼稚園では、簡単な手話を覚え、やすらぎ荘と交流するなどの取り組みを行っています。このような取り組み以外に、どのような特色のある保育ができるか考えていきます。</p> |
| <p>糠平の氷上トライアルのように、冬期間に町営牧場でスノーモービルの世界大会や、夏にはサホロ湖でモーターボートの世界大会を開催しては。人を呼び込むために十勝規模などではなく、世界規模を謳ったインパクトのある大会を開催してはどうか。</p> | <p>(町長) 町のPRを行い、人を呼び込むことは考えなくてはならないと思っています。</p> | <p>(産業課) 観光を通じた集客やPRは、町の活性化や経済効果につながります。イベントでの町外への情報発信では、そば祭りをはじめ、さくら祭り、大雪まつりなどを、旅行情報誌、広告、ホームページなど、複数の情報媒体を通じてPRを実施しています。今後も、現在行われているイベントを磨き上げ、継続し情報発信し続けたいと思います。 また、来年度はNHK連続テレビ小説が放映されるため、様々な方法で積極的に人を呼び込むPRにも努めます。</p> |

| | | |
|--|---|--|
| <p>根室線については、本当に皆が鉄道を走らせたいと思っているのか。あれば良いとは思いますが。費用がかかるのであれば、新得から富良野までの道路網を整備した方が良いのでは。鉄路が通じたとしても本数も少ないのでは。新得にとっては駅があることが財産であり、石勝線と根室線がつながっている方が利用客もおり良いとは思いますが。</p> | <p>(町長)</p> <p>(根室本線の新得－富良野間は)新得は生活路線ではありません。しかし、鉄路は新得だけでの問題はなく、北海道全体の発展を考えたときに公共交通はどうあるべきかと北海道に投げかけています。その中には道路も当然のことですが、産業として公共交通の要として鉄路も必要ではと。</p> <p>鉄路に関しては、貨物輸送もあり、またバス転換というものの人口減少が進む中でバスの運転手の確保が難しいという問題も現実にあります。費用については誰が負担するかという問題があるものの、総合的に考えて将来は鉄路かと思います。ただし、利便性は別の議論だと考えています。</p> <p>いずれにしても新得には関係がないといえる立場にはありません。</p> | <p>(地域戦略室)</p> <p>現地回答のとおりです。</p> |
| <p>山形県高畠町は、一部の新幹線が停車する駅があり、駅の隣にはビジネスホテルや、中には浴場もあり、街から離れているものの町民も多く利用している。飲食が可能な場所や商店、子どもが遊ぶ場所もある。新得駅も帯広方面に通学する高校生も多く、送迎する親もいるので、集いの場所があると良いのでは。</p> <p>駅の周辺に役場があれば、用事を足すついでに商店に立ち寄る方も増えるのでは。</p> | <p>(町長)</p> <p>役場庁舎改築町民検討委員会で議論を進めています。私は経済的な交流がある場所と、行政的な機能は、現在の新得の形態から分けざるを得ないと考えています。そのうえで人が集う場所ということで駅周辺を考えなければなりません。子どもだけで過ごせる場所もあればと思っています。</p> <p>保健福祉センターや公民館との連携が必要で、将来的には図書館の建て替えも想定されます。駅周辺に役場を動かすことについては否定はできませんが、現実的な選択にはならないと思っています。</p> | <p>(地域戦略室)・(総務課)</p> <p>駅前再整備の中で集いの場所も検討していきます。</p> <p>役場庁舎は、現役場庁舎南側に建て替える方向で議論しておりますが、その理由として、町の公共施設が付近に集約されており徒歩で移動できることや、将来既存の公共施設の建て替えなども視野に土地の有効利用が見込まれることが挙げられます。</p> <p>駅周辺については、役場庁舎を建設できるまとまった町有地がなく、用地購入による新たな財政負担が発生するなどデメリットが大きく、また駅前周辺は商業エリアであると考えています。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p>ハザードマップでは、新得市街はほぼ全部が水害に見舞われるようになっていて、道路も川べりが多い。次の水害が起きた際に、別の場所に対応ができる細工が必要では。2年前は街中では洗濯もできなかったが、上佐幌に発電機を備えるなどすれば洗濯機をつなげ自由に利用できる環境もつくれたのでは。</p> <p>サテライトオフィスのような、有事の際にはレディースファームスクールの一室を分室にするなどのシュミレーションが必要では。</p> <p>胆振東部地震の際に安平町でボランティアを行ったが、SNSをうまく活用し、インターネットで募集を行うなど、ITを活用した情報発信、受け入れが効率的で合理的だった。ボランティアセンターの副所長が若い方で手腕を発揮していたが、たとえ若い方でもそのような才能に長けている方がいるので、人材の配置を意識しなくてはならないと思う。</p> <p>先日の新聞報道で、新得はBCPの策定がまだだと掲載されていた。2年前に豪雨災害があったにもかかわらず、なぜそういうものが出来ていないのか。</p> | <p>(町長)</p> <p>現在の役場は水害もブラックアウトも経験しており、これではダメだということで建て替えを検討しています。ご意見のあった第2庁舎のようなものは想定できるかは今は明言できません。</p> <p>ただし、人材の問題は、いくら第2、第3の庁舎をつくったとしても人が動かなければ機能しないので、対策を考えていきます。</p> <p>(町長)</p> <p>新聞紙上のものと、新得で考えている現実との差があるようですが、私たちには2年前の経験があるので、備えは考えています。</p> | <p>(総務課)</p> <p>ハザードマップでは、役場付近の浸水深は50cm以下となっていますが、新得市街のほぼ全域が浸水すると想定されております。防災計画において、役場庁舎が被災した場合には、新得消防署、保健福祉センターを災害対策本部の代替施設に定めておりますが、いずれも被災した場合は屈足総合会館が想定されます。</p> <p>なお、災害時は町民同士の協力やボランティアなどの力をお借りすることとなりますが、町の対応としてまずは生命を守る対応が必要であり、冬期間の停電も想定し新得地区と屈足地区それぞれ1カ所の避難所内の暖房機を稼働できる非常用発電機を整備する方向で検討しています。</p> <p>SNSの活用については、町公式フェイスブックを開設しましたので、災害時には情報発信などの活用も実施していきます。</p> <p>BCP（業務継続計画）については、独立した計画として国が求めるすべての項目について定めているわけではないため、新聞に未策定と掲載されていましたが、首長不在時の代行順位や職員の参集体制、代替庁舎などを防災計画に位置づけております。</p> |
|--|--|--|

| | | |
|--|--|---|
| <p>基線の道路が、補修がする度にがたがたになっている。将来の話ではあるが、きれいに改修する際にはその辺を認識していただきたい。</p> | <p>(町長)</p> <p>どうしても地盤が悪いところはあります。同じことをやってもダメなので、考え方を考えるようにしなくてはいけないと思っています。</p> | <p>(施設課)</p> <p>近年の農業機械等の大型化、台風被害、平成15年以降実施の高速道路建設工事等による、佐幌基線における大型車両の交通量増加が一因と考えられ、建設当初に計画された、大型車両交通量と数年来の交通量では大きく差があるため、道路の損傷が激しくなっている状況です。</p> <p>道路管理者としても、佐幌基線における道路損傷については把握しており、部分的な補修を行っていますが、極端に地盤の悪いところは時期は明言できませんが、将来的には道路の改修を行うことが必要と思われる。</p> <p>なお、当面は舗装による部分補修において対応を行います。</p> |
| <p>上佐幌の通信、インターネット環境について、光回線をひくことが困難であれば、無線を使ったWi-Fiスポットを設置できないか。容量はわからないが、光回線をひくよりは費用も抑えられるのでは。利用したい町民には申請していただき、料金を一部負担という形ではどうか。</p> | <p>(町長)</p> <p>この広さの中では線をひくのはどうしても厳しい現実があるため、無線での対応にならざるをえないかもしれません。対応方法を研究していきます。</p> | <p>(地域戦略室)</p> <p>農村地区へのインターネット環境整備については、民間事業者で整備するのが町の基本的な考え方であり、今後も引き続き事業者へ要望するとともに様々な対応方法を研究していきます。</p> <p>また、現在は民間事業者の携帯電話回線（ポケットWi-Fi）が普及してきており、通信速度面においてもかなり改善されていると考えています。なお、通信料金の一部を町で補助することは考えていません。</p> |

平成30年度「ぽっかぽか心トーク」で寄せられた意見・要望へのご回答

| | | | | | |
|-----|---|----|-------------------|----|----|
| 会場 | 屈足総合会館 | 日時 | 平成30年11月8日 18時30分 | 人数 | 3人 |
| 出席者 | 町長、副町長、地域戦略室長、町民課長、屈足支所長、地域戦略係長、広報広聴係長、生活環境係長 | | | | |

| 意見・要望 | 現地回答 | 担当課回答 |
|--|--|--|
| <p>先の胆振東部地震で、なぜ新得にはこれだけの水力発電所があるのに4-8時間も停電したのか。苫東厚真火力発電所頼みになってしまうのか。</p> | <p>(町長)</p> <p>水力を動かすための初期の電源が必要であるものの、すべての電源が落ちたために、電力が確保するのが難しかったと聞いています。いずれにしても、いかに早く復旧するかが問題です。病院など命に関わる現場もあります。この先をどうするかですが、今回のブラックアウトの原因の徹底した調査し、課題を整理するようにお話ししています。本州からの北本連系に手をつけて、電力の分散化ができるかどうかということもあると思います。</p> <p>私たちの自助努力で何ができるのかですが、商工会には非常用電源についての調査を依頼しています。ただし、価格がどれぐらいかということ、今は全然手に入らないということもあります。費用をあまりかけない中でも最低限の備えをせざるを得ないと思っています。</p> <p>農業においては、農家が発電機を持つのが大変で、トラクターの動力を利用した発電方式を検討していると聞いています。</p> | <p>(総務課)</p> <p>町内には7つの水力発電所がありますが、このうち外部電源を必要とせず起動用電源の確保が可能なのは「新岩松発電所」のみであり、他の水力発電所を起動させるためには電気が必要となります。</p> <p>今回は北海道全域が停電し早期に供給力を確保するため、発電再開が可能であった「奈井江・砂川を含む大型の火力発電所」の起動用電源として、新岩松発電所などの水力発電所が活用されました。</p> <p>町内の復旧については、新岩松発電所以外の水力発電所へ配電線路を通じて送電したことにより、その線路に接続されている付近の一部地域で停電が解消されましたが、それ以外の地域については、全道の供給バランスをとりながら医療機関や役場などの公共機関から優先的に送電していくため、全域の復旧までには約2日間を要したとのことでした。</p> |
| <p>連合町内会の役員会において、発電機の所有者の調査や、できる範囲内の町内会の一定戸数に応じた発電機の設置の要望が出てくることと思う。</p> | <p>(町長)</p> <p>町内会での配置は現実的に無理ではという結論ではなかったかと思えます。</p> <p>ただし、避難所については町の責任ですので、対応を考えていかなくはいけません。次もあるという前提で考えていく必要があると思っています。</p> | <p>(総務課)</p> <p>町内会での発電機の整備をしたとしても、非常時に町内会の世帯全体で利用できる体制を取ることは困難だと考えており、町の責任としては、冬期間の停電時に生命を守る対応が必要だと判断し、新得地区と屈足地区それぞれ1カ所の避難所内の暖房機を稼働できる非常用発電機を整備する方向で検討しています。</p> |

| | | |
|---|--|--|
| <p>第45回大雪まつりが台風の影響を考慮して、事前に中止を決めた。中止の結論が早いことはそれで良いと思う。しかし、中止により前日に屈足総合会館の前で山形県東根市のりんごと桃を格安で販売するとチラシが出たことで、販売開始前から長い行列ができていた。通常どおり祭り会場の販売では購入数を制限しているが、売れ残ったら困るので箱単位で販売したようで1時間も保たずに完売したということ。来客には野菜の袋詰めも行うと思っていらっしゃっていた方も多いと聞いている。このあたりについて、産業課ではどのような対応をしたかお聞かせ願う。</p> | <p>(実行委員長) 祭りの中止は安全を考慮して中止にしたところですが、東根市のりんごと桃については、すでに仕入れていたので役場としては販売しきってしまったかったということのようです。できれば野菜もという話にはなりませんが、キャンセルができたので販売しませんでした。 購入数制限についてはまったく決めていなかったため、当日に並んでいる方の数を想定し、一応制限して販売はしましたが、予想以上に大人気で、特に桃はすぐなくなりました。りんごに関しては全員に行き渡ったかと思えます。 事前に並んでいらっしゃる方には途中で完売もありえるのご了解をいただいたつもりではいますが、並んでいればもしかすると買えるのではというのもあったかもしれせん。 (町長) 役場を含めて実行委員会で、せっかく並んでくださった方にどこまで配慮できるか、野菜の袋詰めについても考えなくてはいけないと思います。いずれにしても次はこういうことがないようにしなくてははいけません。</p> | <p>(産業課) 例年、友好都市との交流の一環として果物の販売を実行委員会で実施しており、好評をいただいております。 果物販売の中で、リンゴは十分な数が入荷できるため制限を設けず販売しておりますが、桃に関して出荷の最盛期を過ぎた時期のため十分な量が確保できない状況です。このため、販売は例年どおり一人1箱までと制限させていただきました。 今後、桃については十分な量の確保ができるか、また、販売数の制限をするかなど、どのような方法が良いかを検討します。野菜の袋詰めについても、期待されている方も多いとお聞きしますので、なるべく実施できる方向で実行委員会を通じ協議してまいります。</p> |
| <p>道道忠別清水線の除排雪が遅い。</p> | <p>(町長) 道道忠別清水線はメインストリートであり、歩道や交差点もあるので配慮するようにと北海道に要望しています。</p> | <p>(施設課) 現地回答のとおりです。</p> |
| <p>コミュニティバスのバス停はあくまでも有志の方の除雪か。道道に面するバス停はなかなか手をつけられない。早朝便は子どもたちも利用するのでなんとかならないかと思う。</p> | <p>(地域戦略室長) コミュニティバスのバス停は基本的には町内会での除雪ということでお願いしています。 (町長) 改めて実態を確認して、どこまでできるかを考えます。</p> | <p>(地域戦略室) 現地回答のとおりです。</p> |